

地域の広報紙の可能性

インターネットの普及で多様化し、さまざまな情報があふれています。地域の広報紙が果たす役割や、広報みよしは第線のプロから見てどう感じられているのでしょうか。

OZ magazine



町の広報という概念を軽やかに飛び越えた本

「広報みよし」に注がれている愛情と熱量を前に、長く雑誌に携わっている身として心から尊敬の気持ちを感じています。「住民が主役」「広報紙はラブレター」といった軸のしっかりしたコンセプト。加えて「住民の写真は正面を向いている写真を意図的に使用して読者と目が合うように」という「細部へのこだわり」が加わり、もはや既存の町の広報という概念を軽やかに飛び越えた雑誌が生まれています。オールスタイルに思われがちな紙メディアですが、このレベルのクリエイティブを担保できれば「町のメディア」というプッシュ型の情報発信が大きな価値になるという見本のような本ですね。さまざまな世代にリーチできる「行き過ぎない」感じも秀逸で、オズマガジンも勉強させていただかなくては、と思います。編集者として勇気をいただけるクリエイティブです。

広報会議



自治体の広報活動が活発化している

月刊『広報会議』は企業・団体で広報活動に携わる人向けの専門誌です。世の中に情報がたくさんあふれかえっている今、広報の役割は非常に重要となっています。そのなかで特に近年、注目されているのが自治体の広報です。三芳町で制作されている広報紙などもその重要なツールのひとつですが、ステークホルダーである地元の人々に届けようと苦慮されている自治体も多く見受けられます。そんな課題を解決しようと、全国の自治体で『広報会議』を手にとっていただく機会もずいぶん増えてきました。誌面では三芳町の広報紙の事例を紹介させていただいたこともあるのですが、熱心に取り組まれる自治体の方々が増えているのも嬉しい変化です。今後も、専門誌としてまちの皆さんの愛着を育むような広報活動のヒントになる情報を多数お届けしていきたいと考えています。

広報



住民の笑顔の写真で町が好きになる

「広報みよし」では、2014年11月号の表紙「いもを掘った女の子」の写真が2015年全国広報コンクールの内閣総理大臣賞を受賞するなど、いつも素敵な写真が表紙を飾っています。また、「いも掘りまつり」の特集号では、毎年住民の写真がたくさん掲載されます。2017年9月号の特集「FAN=FUN 三芳町」では、紙面が住民の笑顔であふれています。笑顔は人を幸せな気持ちにしてくれます。広報紙に住民の笑顔があふれていれば、広報紙を読むのが楽しみになるでしょう。そして、広報紙を通じてまちのことを、ますます好きになるかもしれません。広報紙は、行政からのお知らせを伝えるだけではなく、住んでいるまちを好きになる役割もあると思います。それを、「広報みよし」は、住民の笑顔の写真で実践しているのではないのでしょうか。



町の特産品さつまいもを持ち上げる力強さと笑顔がいも掘りまつりの楽しさを表現していると評価され、内閣総理大臣賞に。自然豊かな三芳町だから撮影できた1枚です。



定期的開催している SNAP 撮影会など毎回、笑顔あふれる住民の皆さんが紙面に登場。広報みよしは、住民と一緒に作られています。

ダイヤの原石を磨いて届ける
普段何気ないコト、モノ……。当たり前と思っていることが、実は宝物になることもあります。自然豊かな三芳町では、緑地公園などで気軽にカブトムシなどの昆虫採集をすることができ、都会で暮らす人たちは昆虫を

買わざるを得ません。また、町内でホテル観賞を楽しめたり、町の伝統芸能の里神楽や車人形が現存していること、300年以上前から落ち葉を使った農法を今なお守り続けていることなど、三芳町に暮らしていても知らない、気が付かないことが、多くあります。ダイヤの原石ともいえる、町の魅力。ホテルが観れる、伝統芸能

や農法が守られているという事実だけでなく、関わる「人」にスポットを当て、三芳町ならではの地域の情報をお届けしています。ダイヤの原石を発掘し、磨いて届けているのが広報みよしの特徴で、住民の笑顔にあふれています。また、町に関心を持ち、好きになるためには必要なのは町のこと



「蝶の採集」も「蝶の採集」も「蝶の採集」も「蝶の採集」も「蝶の採集」も



【写真右】毎年5月下旬ごろにこぶしの里にホタルが舞います。その際には、地元のボランティアの尽力があることを平成28年6月号で特集。【写真左上下】みよしまつりと世界一のいも掘りまつりのイベントレポート。町の魅力を写真で伝えるため、積極的に現場に出ます。香りや風音など写真で伝わりきらない臨場感は文章で補足。取材先で出会う皆さんとの会話は大切な時間。広報も重要な広報活動です。



やっぱり三芳町が大好き！



広報は、ラブレター

皆さんのお手元に届く広報紙。手に取って、まずは開いて読んでほしい……。ダイヤの原石を磨き、心を込めてお届けしています。



OZ magazine

創刊31年目を迎えたライフスタイル情報誌。コンセプトは「よしみ案内帖」「よしみ」の価値を発信し、世界にいい1日を増やすことをビジョンに掲げています。

広報会議

日本で唯一の広報実務者のための専門誌。企業・自治体など、あらゆる組織に対して、実践に役立つ広報の基本と最先端の事例を届けています。

広報

昭和38年に設立された日本で唯一の広報連絡団体・専門機関。地方自治体や各種団体の広報担当者向けに、各種情報提供、コンクールなどを行っています。